

比企地域にのこる「城あと」「館あと」をたのしむ リーフレット2万部を配布

埼玉県立嵐山史跡の博物館では、国指定史跡である比企地域の4つの「城あと」「館あと」を巡り楽しんでいただくため、新たにリーフレットを作成しました。

鎌倉時代の武蔵武士 畠山重忠が居住していたとされる「菅谷館跡」など、比企地域には多くの城跡や館跡が残されています。それらのうち、保存状態が良好なことなどから4つが国指定史跡となっています。

リーフレットは、令和5年3月7日（火）から、埼玉県立嵐山史跡の博物館などで、無料で配布しています。

1 リーフレットについて

発行部数：20,000部

配布場所：埼玉県立嵐山史跡の博物館、吉見町埋蔵文化財センター、嵐なび
観光案内所、ときがわ町観光協会など

連絡先：埼玉県立嵐山史跡の博物館（電話：0493-62-5896）

その他：リーフレットは博物館職員がデザインし作成しました。大河ドラマ等の影響で、畠山重忠など比企地域が注目され、若い方々も以前より多く訪れてくださっています。そのような若い方や手軽に歴史スポットを楽しみたいという方々にも「手に取りたい」「わかりやすい」リーフレットとなるよう、文章・デザインを工夫しました。

2 国指定史跡「ひきじょうかんあとぐん比企城館跡群」について

比企地域には、現在わかっているだけで69ヶ所の中世城館の遺跡があり、関東を代表する城館跡群となっています。これらのうち、菅谷館跡（嵐山町）・松山城跡（吉見町）・杉山城跡（嵐山町）・小倉城跡（ときがわ町）が城郭規模や建築技術等の特徴、良好な保存状態から平成20年に「比企城館跡群」として国指定史跡となりました。※アクセスなど詳細は別添のリーフレットを御覧ください。

【この件に関する お問合せ先】

〒355-0221 埼玉県比企郡嵐山町菅谷757 埼玉県立嵐山史跡の博物館

担当者：総務担当 相馬 メールアドレス：s625896@pref.saitama.lg.jp

電話：0493-62-5896 FAX：0493-61-1060